

|   | 開催年月日       | 研究会又は招待講演                   | 演者                                      |        | 話題提供   | 演者                    |        | その他・連絡会  |  |
|---|-------------|-----------------------------|---|--------|--|-----------------------|--------|--|--|
|   |             |                             | 所属                                      | 氏名     |  | 所属                    | 氏名     |  |  |
| 第 301回  | 2004年4月20日  | 婦人科領域におけるイリノテカンの応用          | 岩手医科大学 医学部 産婦人科 教授                      | 杉山 徹   | 初診時の古典的腫瘍マーカーによる肺癌症例の予後予測について  | 千葉県がんセンター 呼吸器科 医長     | 安藤 総一郎 | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                      |  |
| 第 302回  | 2004年5月18日  | がん化学療法と免疫療法の融合              | 金沢大学医学部 第一外科 講師                         | 大村 健二  | 肺癌化学療法の最近の知見ー非小細胞肺癌ー   | 東京都立駒込病院 呼吸器内科 部長     | 渋谷 昌彦  |  |  |
| 第 303回  | 2004年6月15日  | 腎細胞癌に対する免疫治療の実際             | 慶應義塾大学医学部 泌尿器科学 講師                      | 大家 基嗣  |  |                       |        | 会計報告(塚越)   |  |
| 第 304回  | 2004年7月20日  | 癌治療効果判定基準 RECIST guidelines | 兵庫県立成人病センター 放射線科 医長                     | 渡辺 裕一  | cDNA based chemotherapy strategy design<br>ーweekly paclitaxel + carboplatin combination in second-line chemotherapy for NSCLCー | 日本医科大学附属病院 第四内科 講師    | 弦間 昭彦  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                      |  |
| (8月休会)  |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| 第 305回  | 2004年9月21日  | 肺小細胞癌の治療における最近の話題           | 岡山大学大学院医歯学総合研究科血液・腫瘍・呼吸器内科学 助教授         | 上岡 博   | 消化器固形癌における塩酸イリノテカン隔週投与法の有用性  | 埼玉医科大学 臨床腫瘍科 講師       | 山本 亘   | 新事務員紹介:安藤 里香<br>消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                      |  |
| 第 306回  | 2004年10月19日 | EGFRをめぐる最近の話題               | 国立がんセンター研究所 薬効試験部 耐性研究室 室長              | 西尾 和人  | 高度進行胃癌に対するdocetaxel, cisplatin, irinotecan併用療法～術前化学療法の試み～  | 君津中央病院 血液・腫瘍内科 医長     | 五月女 隆  | 研究会組織の強化について(仁井谷)<br>消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                 |  |
| 第 307回  | 2004年11月16日 | 進行大腸癌:治療切除例に対する集学的治療        | 東海大学医学部 消化器外科 助教授                       | 貞廣 荘太郎 | 卵巣がんの治療成績の推移   | 東京慈恵会医科大学 産婦人科 教室 教授  | 落合 和徳  | 事務局移転の件・研究会組織強化の件(仁井谷)<br>消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)            |  |
| (12月休会)   |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| 第 308回  | 2005年 1月18日 | インターネットを利用した臨床試験データ収集       | 株式会社シーエーシー 医薬システムビジネスユニット 営業オフィス 副オフィス長 | 永田 信行  |  |                       |        | 新年会(大丸東京店8階バンケットルーム くじゃく)                                |  |
| 第 309回  | 2005年2月15日  | 高齢者悪性リンパ腫の治療遍歴              | 東京都老人医療センター 副院長                         | 森 真由美  | CDDP・CPT-11により疼痛コントロールしている骨盤浸潤の一例  | 横浜新緑総合病院 婦人科          | 清水 篤   |  |  |
| 第 310回  | 2005年3月15日  | 臨床試験グループと肺癌の化学療法            | 静岡県立静岡がんセンター 呼吸器内科 部長                   | 山本 信之  | 興味ある病理所見を呈した肺癌の一例  | 君津中央病院 呼吸器科           | 須田 明   | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                      |  |
| 第 311回  | 2005年4月19日  | 電子カルテで変わる21世紀の癌治療           | NTT東日本関東病院 副院長                          | 小西 敏郎  | C型肝炎を背景とした肝癌に対する癌治療後のインターフェロン療法  | 埼玉県立がんセンター 消化器科       | 山口 研成  | 月例会記録について(仁井谷)<br>消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                    |  |
| (5月休会 先生方学会のため)   |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| 第 312回  | 2005年6月21日  | 最近の薬剤性肺障害ー抗癌剤を中心にー          | 日本医科大学 第四内科 教授                          | 工藤 翔二  |  |                       |        | 会計報告(塚越)、事業報告(仁井谷、塚越、栗原)、その他(仁井谷)<br>消化器癌グループ勉強会(例会終了後～) |  |
| 第 313回  | 2005年7月19日  | 最近の放射線化学療法                  | 順天堂大学医学部 放射線医学教室 助教授                    | 唐澤 久美子 | 術後再発GISTに対しグリベックが著効した1例  | 東邦大学医療センター大森病院 消化器内科  | 菊池 由宣  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                      |  |
| 2005年7月28日～29日 第6回 臨床腫瘍夏期セミナー(於:ヤクルトホール)                                |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| 2005年8月19日 The Fourth Tokyo Forum of New Anticancer Drugs 開催(於:ヤクルトホール) |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| (8月休会)  |             |                             |   |        |  |                       |        |  |  |
| 第 314回  | 2005年9月20日  | 胃癌術後補助化学療法                  | 国立がんセンター 中央病院 第一領域外来部長                  | 笹子 三津留 | Paclitaxel投与によるアルコール副障害発現予知の試み   | 日本医科大学付属第二病院 女性診療科・産科 | 小西 英喜  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                      |  |

|   |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
|---|-------------|-------------------------------|--------------------------------|--------|---|-------------------|--------|---|
| 第 315回                                    | 2005年10月18日 | 精巣癌の現状と治療成績(化学療法を中心に)         | 神奈川県立がんセンター 泌尿器科部長             | 三浦 猛   | CPT-11/CDDP併用療法が有効であったTS-1、Taxol抵抗性進行胃癌の1症例                                   | 昭和大学附属豊洲病院 内科     | 佐藤 温   |   |
| 第 316回                                    | 2005年11月15日 | 塩酸イリノテカンの薬理ゲノム学               | 名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科             | 長谷川 好規 | 遊離がん細胞の検出について   | 東京都立墨東病院 内科       | 家城 隆次  | 新事務員紹介:吉田 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
| (12月休会)                                   |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| 第 317回                                    | 2006年1月17日  | 肺がんに対する分子標的治療(EGFR阻害剤を中心に)    | 国立がんセンター中央病院 総合病棟部長            | 田村 友秀  |   |                   |        | 新年会(大丸バンケットルームくじゃく)   |
| 第 318回                                    | 2006年2月21日  | 制吐剤の最近の動向                     | 横浜市立大学大学院医学研究科 頭頸部生体機能・病態医学 教授 | 佃 守    | COX-2抑制剤は家族性大腸腺腫症の腺腫に対して有効か   | 佐々木研究所附属杏雲堂病院 副院長 | 岩間 毅夫  | 受託研究の開始にあたって(仁井谷) 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
| (3月休会 祝日のため)                              |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| 第 319回                                    | 2006年4月18日  | 大腸癌化学療法の最新情報                  | 筑波大学大学院 臨床医学系消化器内科 教授          | 兵頭 一之介 |   |                   |        | 【理事会】定款の一部改定に関する件・受託臨床試験の開始ならびに臨床試験審査委員会運営規定に関する件・組織の一部改正ならびに委員会改編に関する件(仁井谷) 【総会】理事会と同じ議題について(仁井谷・掛橋)・年会費納入について・ドメイン所得に関する件・市民公開講座の件(事務局) 新事務員紹介:林 樹里 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~) |
| 第 320回                                    | 2006年5月16日  | トランスレーショナルリサーチから個別化治療への試み     | 東京都立駒込病院 化学療法科                 | 下山 達   | IFN $\alpha$ が奏効した腎細胞癌多発肺転移の一例  | 昭和大学横浜市北部病院 泌尿器科  | 佐々木 春明 | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
| 第 321回                                    | 2006年6月20日  | 薬剤の開発とQTc測定 E14合意を踏まえて        | 志都呂クリニック 副院長                   | 長嶋 悟   |   |                   |        | 【理事会・総会】2005年度会計報告(塚越)・2006年度事業計画(栗原)・講演会等について(仁井谷)   |
| 第 322回                                    | 2006年7月18日  | 癌治療と緩和ケア                      | 癌研有明病院 緩和ケア科 部長                | 向山 雄人  | 非小細胞肺癌におけるEGFR遺伝子変異スクリーニング  | 埼玉医科大学 呼吸器内科      | 小林 国彦  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
| 2006年7月13日~14日 第7回 臨床腫瘍夏期セミナー (於:ヤクルトホール) |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| (8月休会)                                    |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| 第 323回                                    | 2006年9月19日  | Interventional Radiologyの臨床試験 | 国立がんセンター中央病院 放射線診断部 部長         | 荒井 保明  |   |                   |        | 新事務員紹介:永島理英 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
|   |             | HPVワクチンに関する最新の知見              | グラクソ・スミスクライン株式会社 ワクチン部 顧問      | 堀内 清   |   |                   |        |   |
| (10月休会 先生方学会のため)                          |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| 第 324回                                    | 2006年11月21日 | 卵巣癌に対する腹腔内化学療法の再評価            | 埼玉医科大学 婦人科腫瘍科 教授               | 藤原 恵一  | 大腸癌術後肺転移症例に対する術前CPT-11/5-FU併用療法の経験  | 帝京大学病院 外科         | 野澤 慶次郎 | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後~)   |
| (12月休会)                                   |             |                               |                                |        |   |                   |        |   |
| 第 325回                                    | 2007年1月16日  | 抗体療法の内外における臨床治療成績について         | 日本化薬株式会社 医薬事業本部 ライセンス部 担当参事    | 渋谷 京一  |   |                   |        | 新年会(大丸バンケットルームくじゃく)   |
| 第 326回                                    | 2007年2月20日  | 緩和ケアでの音楽療法                    | 聖路加国際病院 緩和ケア科                  | 伊藤 マミ  | 未分化型進行胃癌および再発胃癌に対するMFOレキセート、5-FU、フルオロウラシル、低用量シスプラチン(MFP療法)による併用化学療法(KDOG9501) | 神奈川県立がんセンター 消化器内科 | 中山 昇典  |   |

|   |             |                                 |  |                |   |                                |        |   |
|---|-------------|---------------------------------|--|----------------|---|--------------------------------|--------|---|
| 第 327回                                    | 2007年3月20日  | 悪性胸膜中皮腫の化学療法について                | 岡山労災病院<br>呼吸器科 部長  | 玄間 顕一          | FOLFOXが有用であった十二指腸潰瘍癌の一例                       | 君津中央病院<br>消化器科                 | 太和田 暁之 | 例会案内送付方法変更<br>について  |
| 第 328回                                    | 2007年4月17日  | 腫瘍のPET/CT診断と治療評価                | 国立国際医療セン<br>ター 放射線科 第3<br>放射線科 医長                        | 窪田 和雄          | poor condition胃癌症例に対する抗がん剤治療                  | 昭和大学附属豊<br>洲病院 内科              | 佐藤 温   | 第8回臨床腫瘍夏期セ<br>ミナーについて   |
| 第 329回                                    | 2007年5月15日  | Taxane Differentiation          | サノフィ・アベンティ<br>ス株式会社<br>Oncology Medical<br>Department 部長 | 嶋本 隆司          | 本院におけるGefitinib(IRESSA)の臨床的検討と感受<br>性予測       | 日本医科大学付<br>属病院 呼吸器・<br>感染・腫瘍内科 | 野呂 林太郎 | 第8回臨床腫瘍夏期セ<br>ミナーについて   |
| 第 330回                                    | 2007年6月19日  | がん化学療法に伴う貧血の現状とエリスロポエチンの<br>有用性 | 埼玉県立がんセン<br>ター 呼吸器科 副<br>部長                              | 酒井 洋           |   |                                |        | 【理事会・総会】2006年度<br>会計報告・2007年度事業<br>計画について(掛橋)   |
| 第 331回                                    | 2007年7月17日  | 医療経済評価の意義と現状                    | 立命館大学 理工学<br>部   | 下妻 晃二郎         | 血液透析患者に対する化学療法                                | 千葉大学医学部<br>呼吸器内科               | 滝口 裕一  | 新事務員紹介:飯島・小<br>林<br>事務局人事(掛橋から中<br>野に交代)<br>・第8回臨床腫瘍夏期セ<br>ミナー<br>・第5回TFNADについて                                     |
| 2007年7月26日～27日 第8回 臨床腫瘍夏期セミナー (於:マクルトホール) |             |                                 |  |                |   |                                |        |   |
| (8月休会)                                    |             |                                 |  |                |   |                                |        |   |
| 第 332回                                    | 2007年9月18日  | がん化学療法とDPC                      | 国立がんセンター中<br>央病院がん対策情<br>報センター システ<br>ム開発室 室長            | 石川ベンジャミン<br>光一 | 頭頸部扁平上皮癌に対する導入化学療法としての<br>TPF療法               | 癌研有明病院<br>化学療法科・血<br>液腫瘍科      | 五月女 隆  | 第8回臨床腫瘍夏期セ<br>ミナー・第5回TFNAD終了<br>報告  |
| 第 333回                                    | 2007年10月16日 | 婦人科癌に対するDP療法                    | 鳥取大学医学部教<br>授<br>がんセンター長                                 | 紀川 純三          |   |                                |        | 【理事会・総会】役員交代<br>(仁井谷)・事業報告(栗<br>原)  |
| 第 334回                                    | 2007年11月20日 | 前立腺癌の薬物治療ー最近のトピックスー             | 東京厚生年金病院<br>泌尿器科 部長                                      | 赤倉 功一郎         | タキソールの血中濃度を測定した切除不能進行胃癌<br>の1症例               | 昭和大学附属豊<br>洲病院 内科              | 関川 高志  | 役員人事(仁井谷)<br>新理事長挨拶(栗原)<br>消化器癌グループ勉強<br>会(例会終了後～)  |
| (12月休会)                                   |             |                                 |  |                |   |                                |        |   |
| 第 335回                                    | 2008年1月15日  | 子宮体癌の化学療法                       | 慶応義塾大学医学<br>部 産科婦人科学教<br>室 教授                            | 青木 大輔          |   |                                |        | 新年会(サリュコパン)   |
| 第 336回                                    | 2008年2月19日  | GISTの治療最前線                      | 国立がんセンター中<br>央病院 胃外科 手<br>術室 医長                          | 片井 均           | 限局型小細胞癌の治療により症状改善を認めた抗Hu<br>抗体陰性の傍腫瘍性辺縁系脳炎の1例 | 日本医科大学付<br>属病院 呼吸器・<br>感染・腫瘍内科 | 野呂 林太郎 |   |
| 第 337回                                    | 2008年3月18日  | 非小細胞肺癌、内科的治療の現状と近未来の展望          | 熊本地域医療セン<br>ター 呼吸器内科 部<br>長                              | 千場 博           | 癌性胸水で発見された正常大卵巣/癌症候群の一症<br>例                  | 海老名総合病院<br>マタニティーセン<br>ター      | 清水 篤   | ①TCOG臨床試験推進<br>機構14月からのメンバ<br>ーについて<br>②「胃癌化学療法の効果<br>判定基準講習会」開催報<br>告<br>③4月以降の月例会日<br>程変更について<br>月例会会長の交代につ<br>いて |
| 第 338回                                    | 2008年4月8日   | がん診療専門施設経営のパラダイムシフト             | 日本医科大学 医療<br>管理学 主任教授                                    | 長谷川 敏彦         | 紫斑病と悪性腫瘍                                      | 東京都立墨東病<br>院 内科                | 家城 隆次  | 月例会会長の交代につ<br>いて  |

|   |             |   |  |        |  |                         |        |  |   |
|---|-------------|---|--|--------|--|-------------------------|--------|--|---|
| 第 339回                                    | 2008年5月13日  | 抗がん剤効果の分子機構                               | 慶応義塾大学医学部附属先端医科学研究所 遺伝子制御研究部門 教授                   | 佐谷 秀行  |  |                         |        |  | 【理事会・総会】役員を選任(栗原)・会計報告(工藤)・事業計画(栗原) 第9回臨床腫瘍夏期セミナーについて 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～) |
| 第 340回                                    | 2008年6月10日  | 食道癌集学的治療の現状と展望                            | 慶応義塾大学医学部 外科学 教授                                   | 北川 雄光  | 十二指腸follicular lymphoma 9例の検討                                | 東京都立駒込病院 化学療法科          | 前田 義治  |  | 第9回臨床腫瘍夏期セミナーについて   |
| 第 341回                                    | 2008年7月8日   | ここまで進んだがんペプチドワクチン : スキルス胃癌や各種がんに対する臨床効果   | 久留米大学医学部 免疫学講座 教授                                  | 伊東 恭悟  | 化療後根治術を施行し得た門脈内腫瘍栓を伴う胃癌の一例                                   | 東京大学 消化管外科              | 和田 郁雄  |  | 第9回臨床腫瘍夏期セミナーについて 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                     |
| 2008年7月24日～25日 第9回 臨床腫瘍夏期セミナー (於:マクルトホール) |             |   |  |        |  |                         |        |  |   |
| (8月休会)                                    |             |   |  |        |  |                         |        |  |   |
| 第 342回                                    | 2008年9月9日   | 分子標的薬剤臨床開発総論(Avastinを中心に)ー臓器がん横断の試験結果よりー  | 中外製薬株式会社 オンコロジー学術情報部 部長                            | 富谷 嘉洋  | 東邦大学における癌プロフェッショナル養成プランの取り組み                                 | 東邦大学医学部 卒後臨床研修・生涯教育センター | 菊池 由宣  |  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)   |
| 第 343回                                    | 2008年10月14日 | 骨転移の分子機構と治療への展開                           | 四国がんセンター 臨床研究部 部長                                  | 井口 東郎  | UGT1A1遺伝子多型による塩酸イリノテカン至適投与量の検討                               | 防衛医科大学校 腫瘍化学療法部         | 市川 度   |  | 新しい臨床試験の受託について  |
| 第 344回                                    | 2008年11月11日 | 化学療法への放射線科の関わり                            | 東京慈恵会医科大学 放射線医学講座 准教授                              | 貞岡 俊一  | カプセル内視鏡による小腸腫瘍の検討  | 千葉大学医学部 腫瘍内科(消化器内科)     | 新井 誠人  |  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)   |
| (12月休会)                                   |             |   |  |        |  |                         |        |  |   |
| 第 345回                                    | 2009年1月13日  | 非小細胞肺癌の周術期治療                              | 千葉大学大学院医学研究院 胸部外科学 教授                              | 吉野 一郎  |  |                         |        |  | 新年会(サリュコパン)   |
| 第 346回                                    | 2009年2月10日  | 人間が最後にかかる病気が「希望」であるー治療と緩和ケアとのゆらぎの中でー      | 堂園メディカルハウス 院長                                      | 堂園 晴彦  | 切除不能・進行再発大腸癌に対するBevacizumab併用療法                              | 帝京大学医学部 附属病院 外科         | 野澤 慶次郎 |  |   |
| 第 347回                                    | 2009年3月10日  | がんトランスレーショナルリサーチ                          | 埼玉医科大学国際医療センター トランスレーショナルリサーチセンター 教授               | 西山 正彦  | 進化するがん性疼痛治療ー脊髄鎮痛法のいろいろー                                      | 東京慈恵会医科大学 附属病院 腫瘍・血液内科  | 井上 大輔  |  |   |
| 第 348回                                    | 2009年4月14日  | 肺がん化学療法から新しい挑戦ーワクチン療法の開発                  | 川崎医科大学 呼吸器内科 教授                                    | 岡 三喜男  | 肺癌 骨転移に対する治療計画   | がん・感染症センター都立駒込病院 呼吸器内科  | 細見 幸生  |  | 第10回臨床腫瘍夏期セミナーについて  |
| 第 349回                                    | 2009年5月12日  | 転移性脳腫瘍治療におけるパラダイムシフト:ガンマナイフ治療と抗腫瘍剤の組み合わせ  | 勝田病院 水戸ガンマハウス 脳神経外科 部長(東京女子医科大学 東医療センター 脳神経外科 准教授) | 山本 昌昭  | 難治性気胸における気管支塞栓術ーEWSを使用して                                     | 複十字病院 呼吸器内科             | 上山 雅子  |  | 第10回臨床腫瘍夏期セミナーについて  |
| 第 350回                                    | 2009年6月9日   | 腎細胞癌に対する分子標的治療                            | 慶応義塾大学 泌尿器科 教授                                     | 大家 基嗣  |  |                         |        |  | 【理事会・総会】役員を選任(栗原)・会計報告(佐々木)・事業計画(栗原) 第10回臨床腫瘍夏期セミナーについて                   |
| 第 351回                                    | 2009年7月14日  | 系統的、効率的臨床試験の進め方ー胃がんにおけるInter-Group Studyー | 大阪医科大学 内科学講座(化学療法センター担当)教授                         | 瀧内 比呂也 | 進行癌患者におけるCYP2A6 genotypeを含んだS-1のpopulation pharmacokinetic解析 | 昭和大学病院 呼吸器内科            | 廣瀬 敬   |  | 第10回臨床腫瘍夏期セミナーについて 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)                                    |
| (8月休会)                                    |             |   |  |        |  |                         |        |  |   |
| 第 352回                                    | 2009年9月8日   | がん性疼痛治療(薬物療法&神経ブロック療法)                    | 昭和大学病院 緩和ケアセンター長                                   | 樋口 比登実 | 進行胃癌に対するドセタキセル+シスプラチン+S-1併用療法(DCS療法)の第Ⅱ相臨床試験(KDOG0601)       | 神奈川県立がんセンター 消化器内科       | 中山 昇典  |  | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～)   |

|         |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |
|---------|-------------|---|--|--------|---|-------------------------|-------|---------------------|--|
| 第 353回  | 2009年10月13日 | 基礎研究に基づく至適抗ガン剤併用療法の検討   | 長崎大学病院 薬剤部 准教授・副薬剤部長                   | 藤 秀人   | 乳癌 センチネルリンパ節生検について                                    | 複十字病院 乳腺科               | 田中 規幹 |                     |  |
| 第 354回  | 2009年11月10日 | 胃癌内視鏡検査の精度  | 横浜栄共済病院 病院長                            | 細川 治   | 前立腺癌多発骨転移に対してドセタキセルに先行してストロンチウム-89を投与したことで骨髄抑制に苦渋した1例 | 東京厚生年金病院 泌尿器科           | 木藤 宏樹 | 消化器癌グループ勉強会(例会終了後～) |  |
| (12月休会) |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |
| 第 355回  | 2010年1月12日  | 胸膜中皮腫の治療戦略と今後の課題  | 兵庫医科大学 内科学呼吸器科RCU科教授                   | 中野 孝司  |   |                         |       |                     |  |
| 第 356回  | 2010年2月9日   | 卵巣がんにおけるNeoadjuvant chemotherapy                              | 筑波大学 臨床医学系産婦人科                         | 吉川 裕之  | Pharmacogenomics                                      | 北里大学医学部 消化器内科学          | 東 瑞智  |                     |  |
| 第 357回  | 2010年3月9日   | 肺癌と免疫   | 新潟大学医学部総合病院生命科学医療センター 准教授              | 吉澤 弘久  | 20th Asia-Pacific Cancer Conference大腸癌ワーキンググループ報告     | 筑波大学臨床医学系 消化器内科 教授      | 兵頭一之介 |                     |  |
| 第 358回  | 2010年4月13日  | がんの分子病態に基づいた新規バイオマーカー開発と臨床応用                                  | 東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターゲノムシーケンス解析分野 准教授  | 醍醐 弥太郎 | 化学療法が著効した胃癌に伴う静脈血栓症の一例                                | 日本医科大学 消化器内科            | 河越 哲郎 |                     |  |
| 第 359回  | 2010年5月11日  | 重粒子線がん治療  | 放射線医学総合研究所重粒子医科学センター 長                 | 鎌田 正   |   |                         |       |                     |  |
| (6月休会)  |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |
| 第 360回  | 2010年7月13日  | 医療者と共にごがん患者団体・支援団体ができることー海外の事例などからー                           | NPO法人がんネットワークジャパン 事務局長                 | 柳澤 昭浩  | 間質性肺炎合併肺癌の治療  | 日本医科大学 呼吸器内科            | 峯岸 裕司 |                     |  |
| (8月休会)  |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |
| 第 361回  | 2010年9月14日  | 子宮体癌幹細胞の生物学的特性の解析   | 順天堂大学医学部産婦人科                           | 加藤 聖子  | 当院における進行膵胆道癌に対するCPT-11の使用経験                           | 昭和大学附属豊洲病院 内科           | 関川 高志 |                     |  |
| 第 362回  | 2010年10月12日 | EGFR-TKI耐性機構とその克服   | 昭和大学腫瘍分子生物学研究所                         | 大森 亨   | EGFR阻害剤の治療スペクトル(症例報告)                                 | 千葉大学医学部 呼吸器内科           | 滝口 裕一 |                     |  |
| 第 363回  | 2010年11月9日  | 間質性肺炎合併肺癌の外科治療  | 日本医科大学付属病院 呼吸器外科                       | 小泉 潔   | 軟部肉腫治療における化学療法の役割                                     | 松戸市立病院 化学療法科            | 五月女 隆 |                     |  |
| (12月休会) |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |
| 第 364回  | 2011年1月11日  | 肝がんの治療ー分子標的剤による治療を含めてー  | 葉大学大学院医学研究院 腫瘍内科学教授                    | 横須賀 收  |   |                         |       |                     |  |
| 第 365回  | 2011年2月8日   | ゲノムインプリンティングと発癌   | 東北大学医学系研究科 環境遺伝子医学総合センター 教授            | 有馬 隆博  | 大腸癌におけるLuminex法による新しいKRAS遺伝子変異検出キットの臨床性能試験            | 千葉県がんセンター 消化器内科         | 傳田 忠道 |                     |  |
| 第 366回  | 2011年3月8日   | 2大呼吸器疾患となるCOPDと肺癌   | 島根大学医学部 内科学講座(がん化学療法教育学) 呼吸器・化学療法内科 教授 | 磯部 威   | 肺癌領域におけるパラダイムシフト                                      | 埼玉医科大学国際医療センター 呼吸器内科 教授 | 小林 国彦 |                     |  |
| 第 367回  | 2011年4月12日  | 肺がんの分子標的治療の現状と今後の展望   | 金沢大学がん研究所・腫瘍内科                         | 矢野 聖二  | 家族性腫瘍の遺伝子診断   | 癌研有明病院 遺伝子診療センター        | 新井 正美 |                     |  |
| 第 368回  | 2011年5月10日  | RECISTガイドライン Ver.1.1  | 国立がんセンター中央病院 放射線診断科                    | 渡辺 裕一  | tailored dose 化学療法 (JFMC31の結果から)                      | 化学療法研究所 附属病院化学療法部       | 高橋 豊  |                     |  |
| 第 369回  | 2011年6月14日  | 若年女性患者に対する化学療法後の妊孕性温存の可能性ーOncofertility treatment(がん・生殖医療)の試み | 聖マリアンナ医科大学 産婦人科学 教授                    | 鈴木 直   |   |                         |       |                     |  |
| 第 370回  | 2011年7月12日  | メディアはがん医療の敵か?味方か?   | 日経BP社 医療局 主任編集委員                       | 宮田 満   | 制吐療法の変遷   | 東京慈恵会医科大学腫瘍・血液内科        | 相羽 恵介 |                     |  |
| (8月休会)  |             |   |  |        |   |                         |       |                     |  |

|         |             |   |   |        |   |                                     |        |  |
|---------|-------------|---|---|--------|---|-------------------------------------|--------|--|
| 第 371回  | 2011年9月20日  | 乳癌診療ガイドライン2011<br>-WEB化による新たな試み-                          | 昭和大学 プレスト<br>センター長/乳腺外<br>科 教授              | 中村 清吾  | 中枢神経系転移を有する胃癌患者の検討  | がん・感染症セ<br>ンター都立駒込<br>病院 化学療法<br>科  | 澤田 武志  |  |
| 第 372回  | 2011年10月18日 | がん診療におけるコミュニケーション技術 -構造の<br>理解と実践-                        | 日本医科大学付属<br>病院 化学療法科部<br>長                  | 久保田 馨  | 小型肺癌に対する診断・治療の動向  | 東京医科大学<br>外科学第一講座<br>教授             | 池田 徳彦  |  |
| 第 373回  | 2011年11月15日 | 増加するメタボリックシンドロームとしての脂肪肝とそ<br>の肝発癌                         | 愛知医科大学医学<br>部 内科学講座<br>消化器内科 教授             | 米田 政志  | 頸部食道肉腫様癌の一例   | 君津中央病院<br>消化器科                      | 三根 毅士  |  |
| (12月休会) |             |   |   |        |   |                                     |        |  |
| 第 374回  | 2012年1月17日  | 切除不能・再発大腸がんに対する薬物療法                                       | 国立がん研究セン<br>ター東病院 消化器<br>内科                 | 吉野 孝之  |   |                                     |        |  |
| 第 375回  | 2012年2月21日  | 膵・胆動癌化学療法の最近の動向: 予後改善に向け<br>た取り組み                         | 杏林大学医学部内<br>科学腫瘍内科                          | 古瀬 純司  | 間質性肺炎合併肺癌に対する<br>周術期ビレスバ療法                                      | 千葉大学大学院<br>医学研究院呼吸<br>器病態外科学<br>准教授 | 吉田 成利  |  |
| 第 376回  | 2012年4月17日  | C型肝炎ワクチンの開発について   | がん・感染症セン<br>ター都立駒込病院<br>肝臓内科                | 木村 公則  | StageII結腸癌への補助化学療法  | 東海大学医学部<br>付属病院 消化<br>器外科 教授        | 貞廣 荘太郎 |  |
| 第 377回  | 2012年5月15日  | 抗悪性腫瘍薬の臨床薬理   | 埼玉医科大学国際<br>医療センター 腫瘍<br>内科                 | 佐々木 康綱 | Bevacizumabの胸水に対する治療効果  | 日本医科大学付<br>属病院 呼吸器<br>内科            | 北村 和弘  |  |
| 第 378回  | 2012年6月19日  | 大学発トランスレーショナルリサーチの現状                                      | 東京大学医学研究<br>所附属病院医療<br>安全管理部臨床試<br>験管理推進室教授 | 長村 文孝  |   |                                     |        |  |
| 第 379回  | 2012年7月17日  | 分子標的治療薬による皮膚症状の対応と実際                                      | 埼玉県立がんセン<br>ター皮膚科                           | 石川 雅士  | ASCOからの提言: 医療費を削減し、診療を改善する<br>5つの方法                             | 済生会宇都宮病<br>院外科                      | 松田 正典  |  |
| (8月休会)  |             |   |   |        |   |                                     |        |  |
| 第 380回  | 2012年9月18日  | Metronomic Chemotherapy に着目したがん休眠療<br>法: 難治性再発婦人科がんに対する試み | 九州大学大学院医<br>学研究院 生殖病態<br>生理学 准教授            | 小林 裕明  | 早期胃癌に対する内視鏡治療の現状と今後の展望  | 北里大学医学部<br>消化器内科<br>准教授             | 田邊 聡   |  |
| 第 381回  | 2012年10月16日 | 非小細胞肺癌化学療法のCutting Edge                                   | 金沢大学細胞移植<br>学・呼吸器内科 准<br>教授                 | 笠原 寿郎  | 慈恵医大における膵臓癌に対する新しい治療  | 東京慈恵会医科<br>大学肝胆膵外<br>科・腫瘍血液内<br>科   | 宇和川 匡  |  |
| 第 382回  | 2012年11月20日 | 肺癌化学療法のUp to Date   | がん研有明病院<br>呼吸器内科 部長                         | 西尾 誠人  | 非切除中下部悪性胆道狭窄に対するMetallic stent留<br>置の現状                         | 千葉大学医学部<br>消化器内科                    | 酒井 裕司  |  |
| (12月休会) |             |   |   |        |   |                                     |        |  |
| 第 383回  | 2013年1月15日  | 大腸癌はなぜ増えたのか、予防は可能なのか                                      | 京都府立医科大学<br>分子標的癌予防医<br>学大阪研究室 特任<br>教授     | 石川 秀樹  |   |                                     |        |  |
| 第 384回  | 2013年2月19日  | ダイオキシン類受容体(AHR)を介するシグナルと子宮<br>体癌                          | 九州大学環境発達<br>医学研究センター<br>特任教授                | 和氣 徳夫  | HIV感染症と肺がん  | がん・感染症セ<br>ンター都立駒込<br>病院<br>呼吸器内科   | 大熊 裕介  |  |
| 第 385回  | 2013年3月19日  | 骨転移薬物治療の基礎と臨床   | がん研有明病院<br>総合腫瘍科 部長                         | 高橋 俊二  | 当院におけるbevacizumabを用いた肺がん化学療法                                    | 複十字病院 呼<br>吸器内科                     | 久世 眞之  |  |
| 第 386回  | 2013年4月16日  | 胃癌の病理学的特徴とHER2検査の実際                                       | 国立がん研究セン<br>ター中央病院<br>病理科 医長                | 九嶋 亮治  | 内視鏡粘膜下層剥離術(ESD)の新たな治療戦略 -<br>ESDで完全切除が施行できた胃巨大脂肪腫と胃GIST<br>の症例- | 昭和大学附属豊<br>洲病院 内科                   | 吉田 智彦  |  |
| 第 387回  | 2013年5月21日  | 日本の腫瘍内科学の現状   | 千葉大学大学院医<br>学研究院 先端化学<br>療法学                | 滝口 裕一  | 肺癌診療におけるEBUS-TBNAの最新の話  | 千葉大学大学院<br>医学研究院 呼<br>吸器病態外科学       | 中島 崇裕  |  |
| 第 388回  | 2013年6月18日  | 非小細胞肺癌における分子標的治療および免疫学的<br>治療の最前線-ASCO 2013報告もふまえて        | 北海道大学大学院<br>医学研究科 呼吸器<br>内科学分野              | 大泉 聡史  |   |                                     |        |  |
| 第 389回  | 2013年7月16日  | 乳癌と胃癌におけるHER2発現状況の病理学的検索<br>の意義と実際                        | 埼玉県立がんセン<br>ター 病理診断科                        | 黒住 昌史  | 頭頸部原発腺癌に対するドセタキセル、カルボプラチ<br>ン併用療法の報告/各臓器がん稀少組織型に対する<br>化学療法の選択  | 松戸市立病院<br>化学療法科                     | 五月女 隆  |  |

| (8月休会)  |             |  |                            |       |  |                           |        |  |
|---------|-------------|--|----------------------------|-------|--|---------------------------|--------|--|
| 第 390回  | 2013年9月17日  | 局所進行直腸がんに対するTS-1/CPT-11併用術前化学放射線療法の臨床第II相試験(仮称)    | 北里大学医学部<br>外科学             | 渡邊 昌彦 | がんと医療政策－混合診療を考える－”先進的医療の普及に向けて”                              | 東京共済病院<br>腫瘍内科            | 岡田 直美  |  |
| 第 391回  | 2013年10月15日 | 全国規模の遺伝子診断ネットワークによる希少肺癌のスクリーニングシステムの構築と新薬開発への挑戦    | 国立がん研究センター東病院 呼吸器内科        | 後藤 功一 | 当院の子宮頸がんに対する術前動注による治療  | 海老名総合病院<br>婦人科            | 清水 篤   |  |
| 第 392回  | 2013年11月19日 | 子宮体癌の診断・治療 update                                  | 新潟大学大学院医歯学総合研究科 産科婦人科学 教授  | 榎本 隆之 | 当院における進行肺癌に対するFOLFIRINOX療法の使用経験                              | 昭和大学横浜市北部病院 内科            | 宮下 耕一郎 |  |
| (12月休会) |             |  |                            |       |  |                           |        |  |
| 第 393回  | 2014年1月21日  | 胃癌に対する術前/術後補助化学療法                                  | 神奈川県立がんセンター 消化器外科          | 吉川 貴己 |  |                           |        |  |
| 第 394回  | 2014年2月18日  | 化学療法の安全管理～職種間コミュニケーションの重要性～                        | 横浜市立大学大学院医学研究科産婦人科 准教授     | 宮城 悦子 | ALK肺癌に対するCrizotinibの使用経験と今後の展望                               | 日本医科大学大学院医学研究科呼吸器内科分野 准教授 | 清家 正博  |  |
| 第 395回  | 2014年3月18日  | ロボット手術が拓く外科イノベーション                                 | 順天堂大学大学院医学研究科泌尿器外科学 教授     | 堀江 重郎 | 進行再発大腸がん患者に対する irinotecan-based regimen の血液毒性予測 nomogram の開発 | 昭和大学病院 腫瘍内科 准教授           | 市川 度   |  |
| 第 396回  | 2014年4月15日  | スペシャル・ポピュレーション(肝機能低下者、腎機能低下者、高齢者)に対する抗がん薬の用量調節     | 慶應義塾大学医学部・医学研究科 臨床薬理学教室 講師 | 今村 知世 | 進行再発大腸癌に対する5-FU血中濃度測定による個別化mFOLFOX7+ベバシズマブ療法                 | 千葉県がんセンター消化器内科 部長         | 傳田 忠道  |  |
| 第 397回  | 2014年5月20日  | Immuno-checkpoint therapyの基礎知識                     | 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科 医長    | 藤原 豊  | HIV感染・AIDSと肺癌  | 東京医科大学病院 臨床腫瘍科 教授         | 吉村 明修  |  |
| 第 398回  | 2014年6月17日  | 進行肺癌における個別化治療の進歩                                   | 東北大学病院 臨床研究推進センター 特任准教授    | 井上 彰  |  |                           |        |  |
| 第 399回  | 2014年7月15日  | オンコロジー領域でのライフサイクルマネジメントにおけるメディカル活動とマーケティング活動       | 中外製薬株式会社 執行役員学術本部長         | 仁平 新一 | 治癒切除不能・再発小腸腺癌に対するmFOLFOX6療法                                  | 神奈川県立がんセンター消化器内科          | 中山 昇典  |  |
| (8月休会)  |             |  |                            |       |  |                           |        |  |
| 第 400回  | 2014年9月16日  | がん性腹水に対する新たな治療戦略:KM-CARTIによる積極的症候緩和とオーダーメイド癌治療への活用 | 要町病院 腹水治療センター              | 松崎 圭祐 | 成人軟部肉腫の化学療法－エビデンスのUpdate－                                    | 国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科    | 公平 誠   |  |